

令和3年4月28日

ごみ減量大作戦第3次展開を進めます！

～チャレンジごみ減量20%～

ごみ減量大作戦は、令和3年度最終年度を迎えました。

令和3年4月から開始した「雑がみ」収集に続き、目標達成に向けた第3次展開として「生ごみ」の減量化・資源化を促進するため、ダンボールコンポストの購入費助成や食品ロス削減アドバイザーの委嘱を行い、「生ごみ」「紙類」「草枝類」の減量化・資源化に直接つながる施策を積極的に展開して参ります。

記

1 ダンボールコンポストの購入費助成

家庭から出る「生ごみ」をたい肥化する「ダンボールコンポスト」の購入費用を助成します。

(1) 販売数及び販売価格

限定300セット、販売価格2,000円（税込み）

(2) 助成額

1セット当たり1,000円助成します。（自己負担額1,000円）

(3) 申し込み方法

市ホームページからオンライン申請、または、ごみ減量推進課窓口でお申し込みください。

申込期間 令和3年4月28日（水）から5月31日（月）午後5時15分まで

※申し込みが限定数を超えた場合は、抽選となります。

※申し込みが限定数に達しなかった場合は、6月以降先着順で受け付けます。

購入方法の詳細は別紙のとおり



2 福島市食品ロス削減アドバイザー新設

家庭から出る「生ごみ」の減量化には、「食品ロスの削減」が重要です。食品ロスの削減を推進するため、今年度新たに「福島市食品ロス削減アドバイザー」を委嘱します。

(1) 福島市食品ロス削減アドバイザー

福田 かずみ 先生（食品ロス削減アドバイザー/冷蔵庫収納家）

(2) 今年度実施予定の事業

講演会、パネル展などを予定

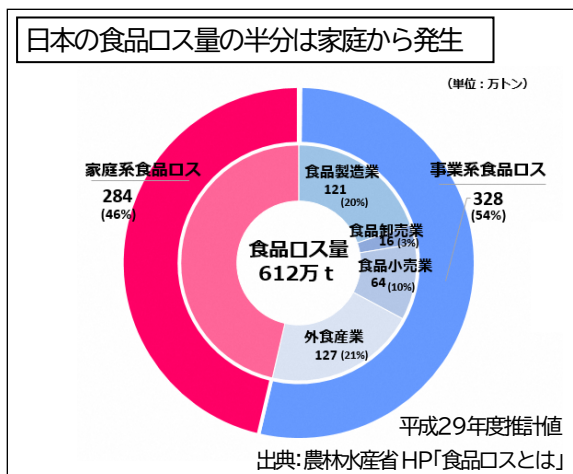
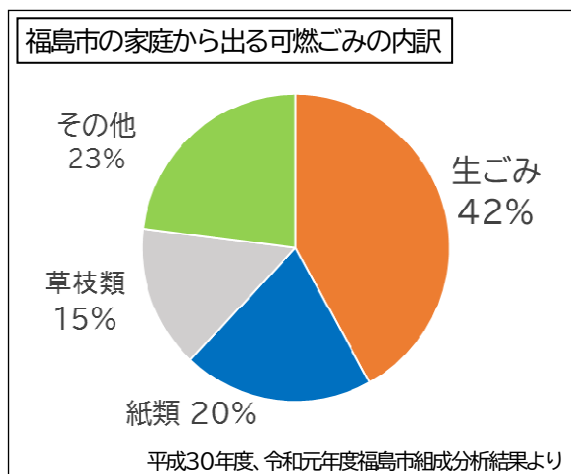


福田かずみ先生

担当：ごみ減量推進課ごみ減量推進係
課長 中野 係長 菊田
電話 024-525-3744（直通）

家庭から出る生ごみを削減するために！

福島市の家庭から出る可燃ごみの4割を占める「生ごみ」。「生ごみ」や「食品ロス」を削減することは、ごみの減量化・資源化に大変重要です。

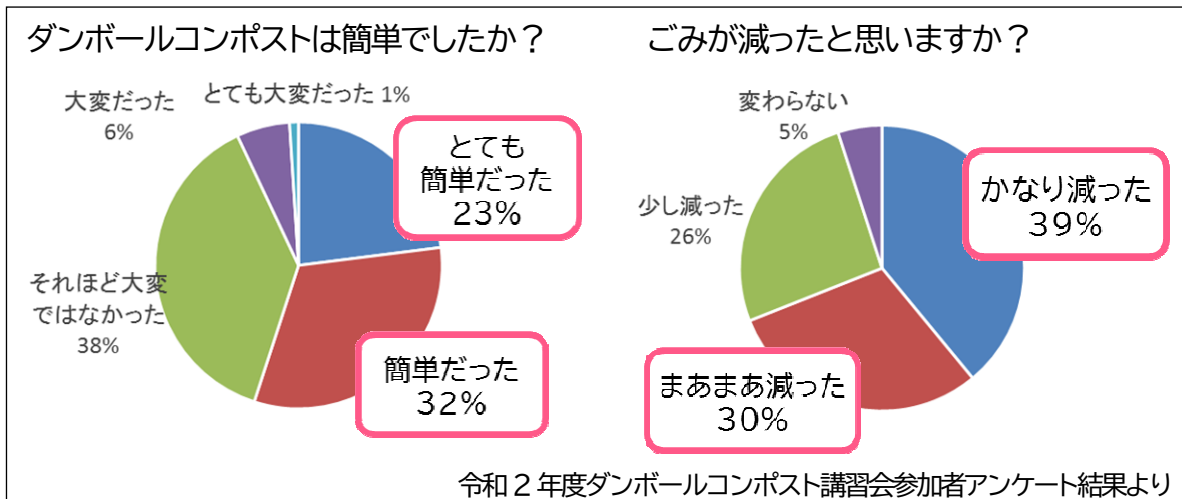


1. 「生ごみ」を削減するために！

生ごみの減量化・資源化には、生ごみのたい肥化が大変効果的です。

市ではこれまでも「生ごみ処理容器購入費の助成」、「ダンボールコンポスト講習会の開催」など、生ごみのたい肥化に取り組んで参りました。

今年度は、令和2年度に実施したダンボールコンポスト講習会の参加者から、「簡単だった」「ごみが減った」と好評だった「ダンボールコンポスト」に、より多くの方に挑戦していただけるよう「ダンボールコンポスト購入費助成事業」を実施します。



●ダンボールコンポスト購入費助成事業

〔助成対象〕 ダンポスト助成事業限定セット 限定300セット

〔申込期間〕 令和3年5月31日17時15分まで

※申し込みが限定数を超えた場合は、抽選となります。

※申し込みが限定数に達しなかった場合は、6月以降先着順で受け付けます。

〔申込方法〕 市ホームページからオンライン申請、

または、ごみ減量推進課窓口にて申込書を提出

〔購入方法〕 助成が決定した方に、購入費助成券等を送付しますので、指定事業者（福島市庄野）にて、ダンボールコンポストを購入してください。

（自己負担額1,000円）

〔その他〕 購入は、1世帯1セットに限ります。

出来たたい肥は、ご家庭で活用してください。（ごみに捨てないでください）

2. 家庭の冷蔵庫から「食品ロス」をなくそう！

日本の食品ロス量の半分は、家庭から発生しています。生ごみを削減するためには、家庭からの食品ロスを削減することが重要です。

福島市では、家庭からの食品ロスを削減するため、「福島市食品ロス削減アドバイザー」を新設し、食品ロス削減につながる施策を積極的に実施します。

福島市食品ロス削減アドバイザー 福田かずみ先生

福田先生は、食品ロス削減アドバイザー/冷蔵庫収納家として、冷蔵庫整理術、食品ロス問題などをテーマに、多くの自治体・学校等で講演を行うほか、テレビ・雑誌等のメディアでも活躍されております。

本市においても、令和2年10月に「冷蔵庫整理収納講座」を開催し、また、市ホームページでの冷蔵庫整理収納術の広報に助言をいただくなど、ともに本市の家庭から出る食品ロスの削減に取り組んできました。

〔令和2年度 冷蔵庫整理収納講座の様子〕

